

岡庭総領事とフロリダ州航空関連大学との意見交換

(2月)

2月、岡庭総領事はデイトナビーチに出張し、エンブリ・リドル航空大学とフロリダ工科大学と意見交換をした。フロリダ州中央東部海岸には、米国や他国の主要な航空宇宙企業が拠点を置くとともに同産業分野で多くの中小企業が存在する。

フロリダ州航空関連大学と全米第2位の航空産業を有するフロリダ州の関連人材育成や研究開発を支える主要大学関係者の発言概要は下記のとおり。

1 エンブリ・リドル航空大学クルーズ副総長

(なお、同副総長に加えて下記晩餐会では総長夫妻(昔、福島県郡山市に数年間滞在した経験のある親日家)にも会い、その際、当方より9月の日米南東部会年次会合に参加招請しておいた。)

(1) 同大は、90年前に設立され、1967年にマイアミからデイトナビーチに移転。私立だが、営利目的ではない。航空宇宙に関連する幅広い分野を専門とし、近年、航空産業の伸長とともに学生数は増加している。学生数は、デイトナビーチ本校に5800人、アリゾナ校に2000人いる(20%が留学生)他、海外の150箇所の教育センター(日本にはない)で多くの学生がオンライン教育を受けている。卒業生の96.5%は希望する分野に就職しており、ボーイングをはじめ航空産業に人材を供給している。同大は、US News & World Report 誌により、航空工学部門及びオンライン教育部門で全米1位に選ばれた。

(2) 同大の特徴は、(ア)デイトナ国際空港に隣接し、試験飛行等に便利なこと、(イ)高度な研究・試験施設を有し、今も150百万ドルかけてキャンパスや施設を拡張、更新していること、(ウ)産業界との協力を積極的に推進し、研究開発のみならずFAAの認証取得や商業性評価などの面でも協力していることである。研究予算は、数年前に年間6.5百万ドル、現在7百万ドル、数年後には35百万ドルを目指している。研究開発プロジェクトの提案数は同大が対処しきれないほどあり、施設拡張が実現すれば、研究活動を拡大できる。

(3) 新たな分野として、商業宇宙活動に関する学位コース新設、電気ハイブリッド航空機に関する特許取得を行っている。現在、全米一の風洞トンネル建設に係る予算を州政府に申請している。コンピュータ科学、自動運転技術なども教えている。NEXGENプロジェクトは、連邦政府の支援(年9百万ドル)を受けて現行のレーダーではなく、GPSに基づく航空路検索システムの開発を企業と連携して進めている。

(4) 外国企業との協力、大企業のみならず中小企業との協力も進めている。販売許可の取得、ビジネスモデルの構築、販売強化などに関して支援している。

2 フロリダ工科大学サロネン対外関係課長

(なお、同課長は日米南東部会のメンバーであり、昨年11月のバーミングハムにおける合同会議にも参加している。当方から、本年9月の合同会議にも参加するよう要請しておいた。)

(1) 同大は、NASA の打ち上げ基地があるケープ・カナベラルに近接する。航空宇宙のみならず、海洋学、電気工学、製造技術、天文学など幅広い工学教育を行っている。比較的小規模な大学で、同校に500人の学生がいる(3分の1が留学生、出身国は126か国)他、ドバイにもキャンパスを有し、また、オンライン教育で1万人が教育を受けている。私立の大学であるが、非営利目的法人である。

(2) 大学周辺には、Harris Corporation (人工衛星製造、23000 人雇用)、Northrup Grumman (戦闘機等を製造、同大と 200 億ドルの研究開発プロジェクトを実施中)、Lockheed Martin (米海軍のトライデント・ミサイルの試験シミュレーター開発)、仏 Thales、伯 Embraer (重役用ジェット機を製造、北米の研究開発拠点)、Boeing (商業用宇宙機を近く実用化)、Space X (Elon Musk 氏が所有)、Blue Origin (Bezos 氏が所有) などの航空宇宙・軍需企業が拠点を有する。フロリダ州は、航空産業の規模が全米で2位、宇宙産業に関しては正確な定義がないが、おそらく全米1位だろう。カリフォルニア州、コロラド州も宇宙産業が大きい。同大学では、こうした企業への人材供給とともに企業から大学に人を派遣して教育を受けたり、研究を行っている。

(3) 新たな分野として、製品ライフサイクルを予測するソフトウェア開発を行っている。三菱重工や GE など大企業は既にかかるソフトウェアを有するが、サプライ・チェーンの中小企業は有さない。この面で中小企業に協力したい。

(4) 日米同盟もあり、日本とは航空宇宙の研究開発について協力しやすい。協力を追求したい。